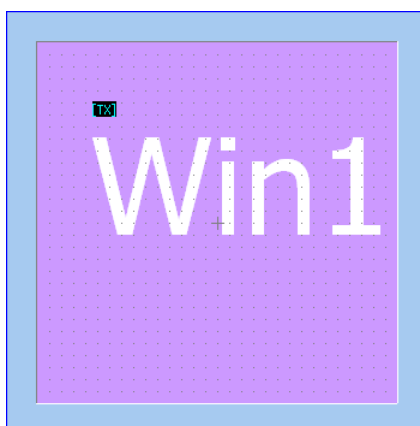


GX8 ポップアップウィンドウ画面の設定方法

ここでは、4種類のウィンドウ画面表示方法をご紹介します。

1. [画面切替スイッチオブジェクト]で表示する
2. [ビットスイッチオブジェクト]で表示する
3. [ワードスイッチオブジェクト]で表示する
4. PLC からウィンドウ画面を表示する

サンプルウィンドウ画面1： 1-NewWindowScreen1

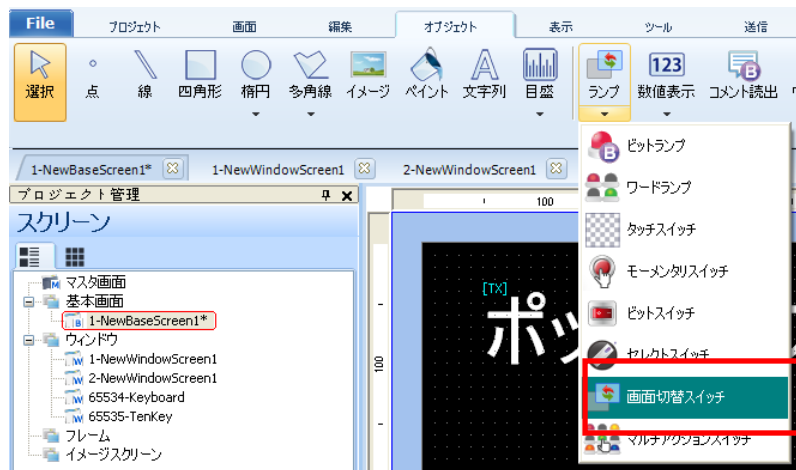


サンプルウィンドウ画面2： 2-NewWindowScreen1

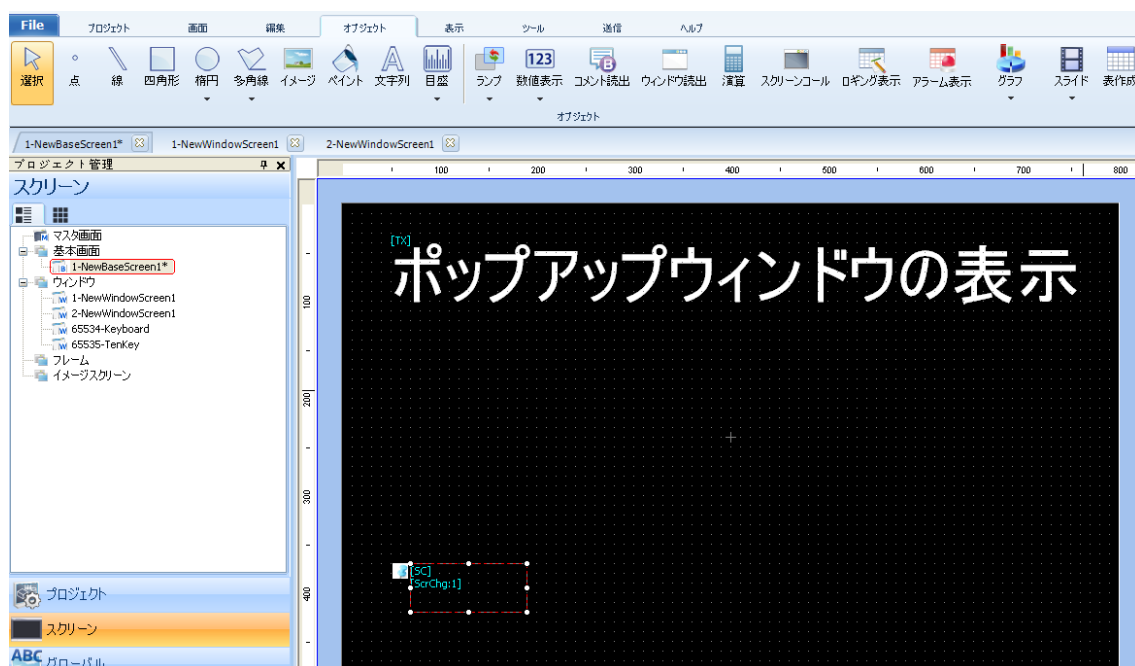


1. [画面切替スイッチオブジェクト]で表示する

[オブジェクト]タブの[ランプ]ー[画面切替スイッチ]をクリックします。

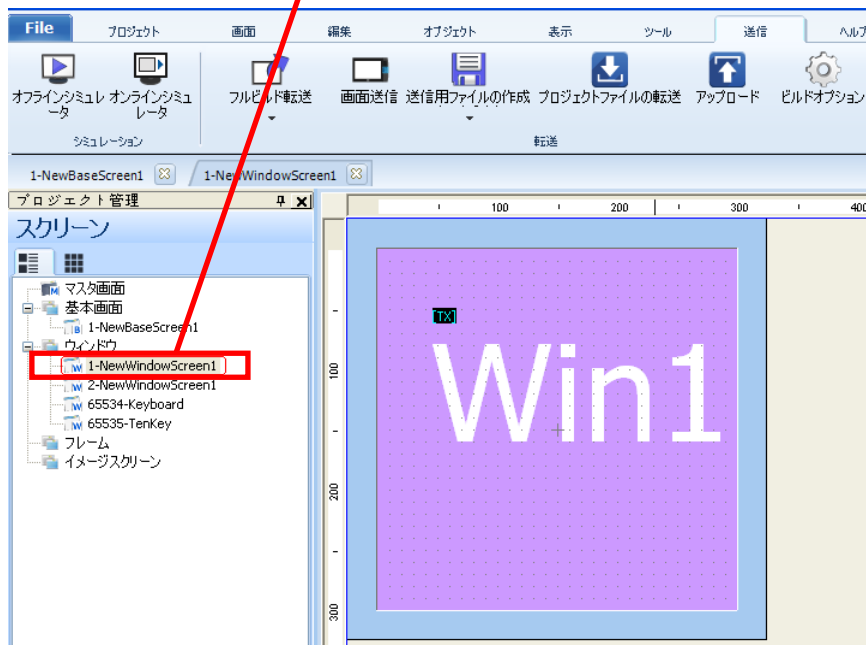
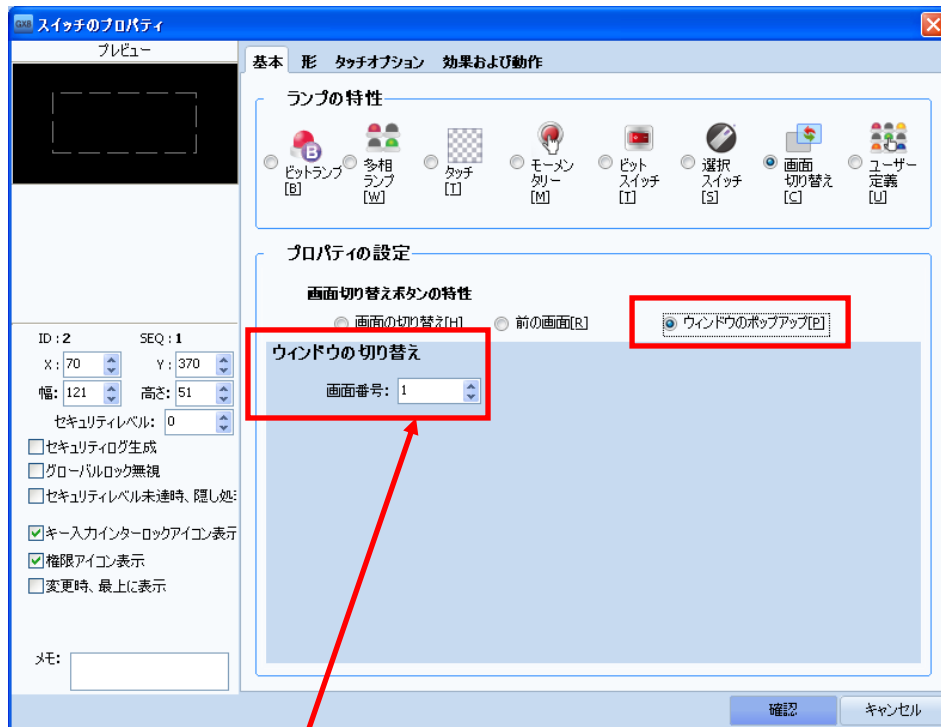


基本画面にスイッチを置き、ダブルクリックで[スイッチのプロパティ]を開きます。



[画面切り替えボタンの特性]で[ウィンドウのポップアップ]を選択します。

[ウィンドウの切り替え]でポップアップさせる[画面番号]を設定します。

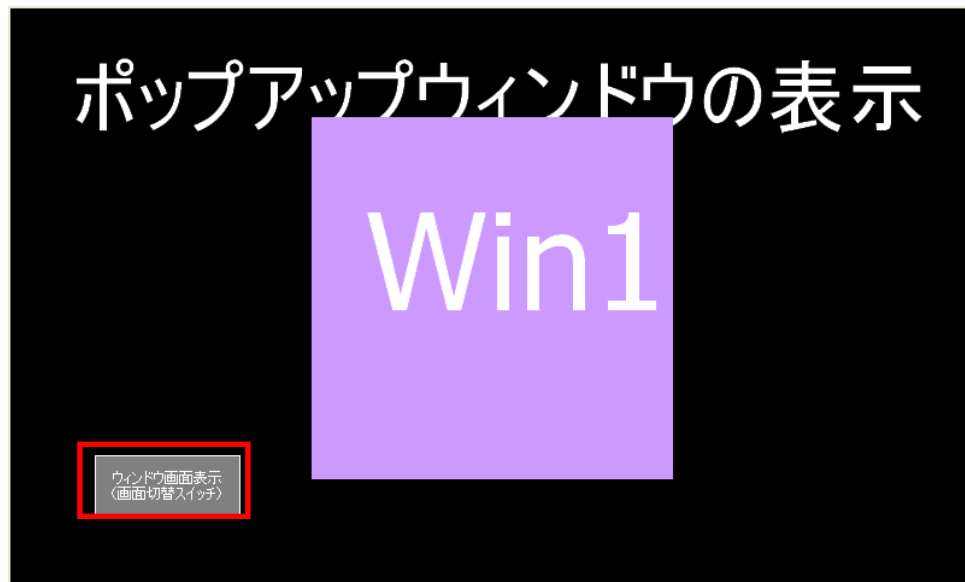


必要に応じてスイッチのデザインおよび文字列を設定します。



スイッチを押すと、ウィンドウ画面がポップアップされます。

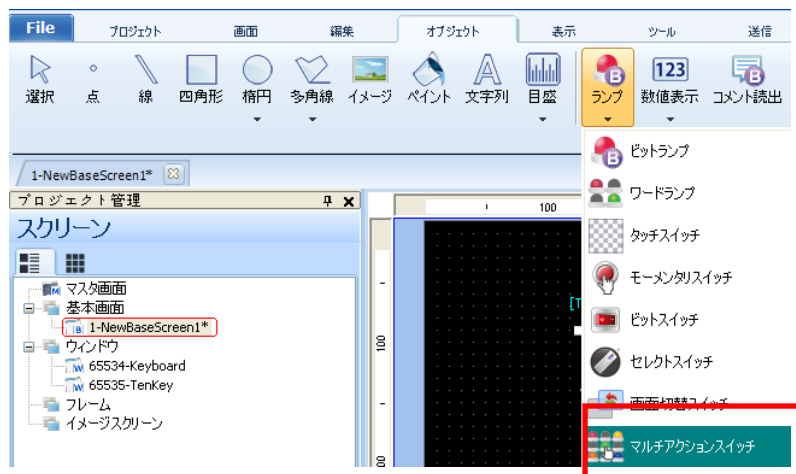
再度スイッチを押すと、ウィンドウ画面が閉じます。



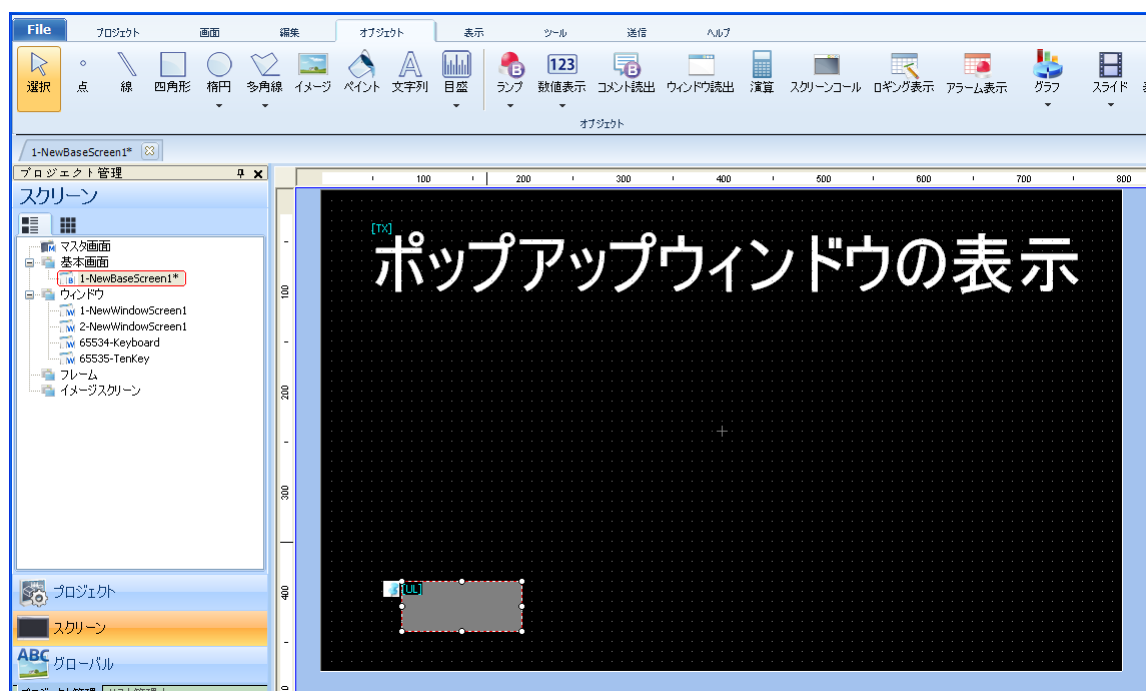
2. [ビットスイッチオブジェクト]で表示する

例) 内部アドレス SYS0.0 が ON した時、ウィンドウ画面を表示する

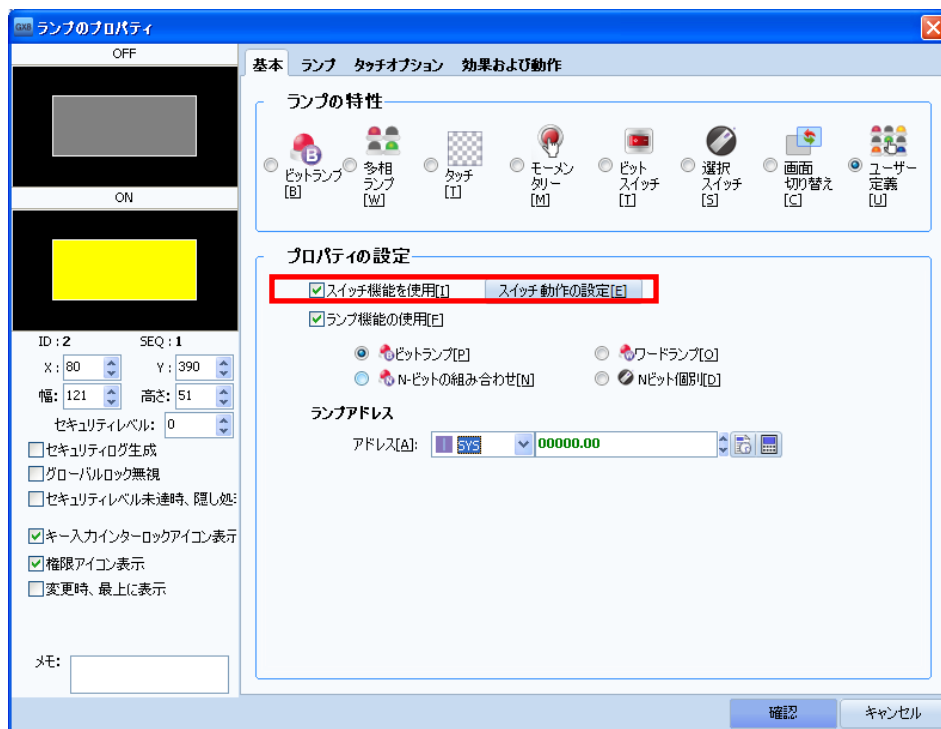
[オブジェクト]タブの[ランプ]ー[マルチアクションスイッチ]をクリックし、基本画面にスイッチを配置します。



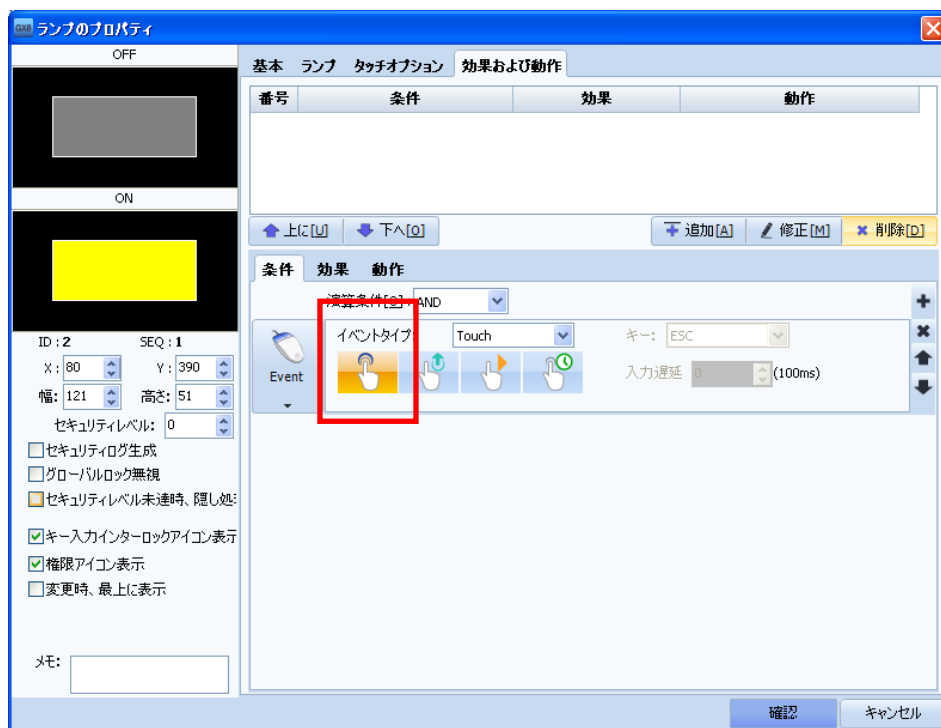
基本画面にスイッチを置き、ダブルクリックで[スイッチのプロパティ]を開きます。



[スイッチ機能を使用]にチェックを入れ、「スイッチ動作の設定」をクリックします。

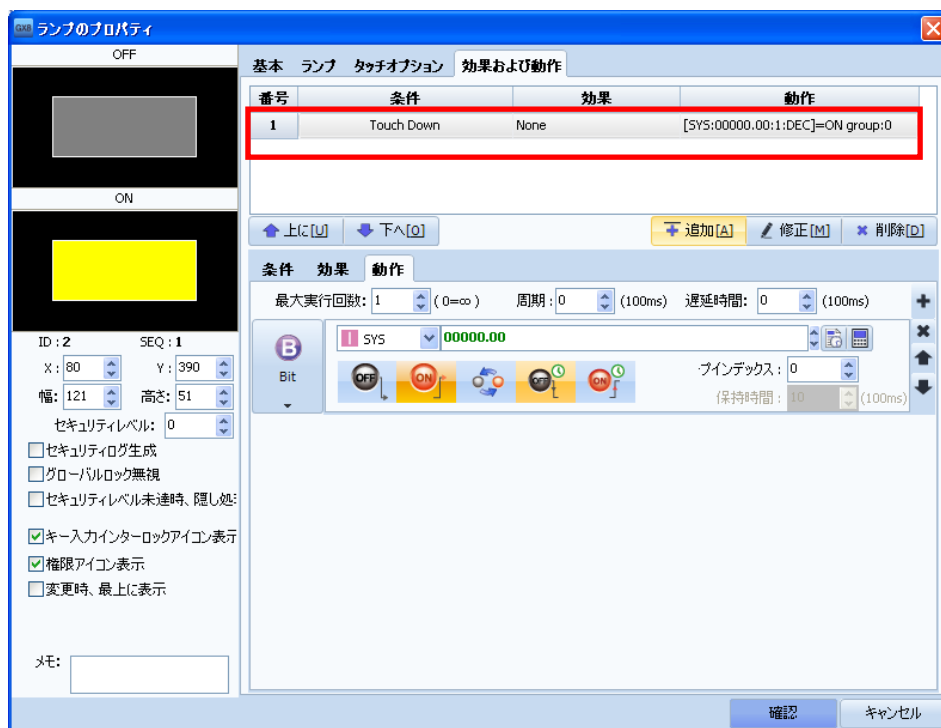
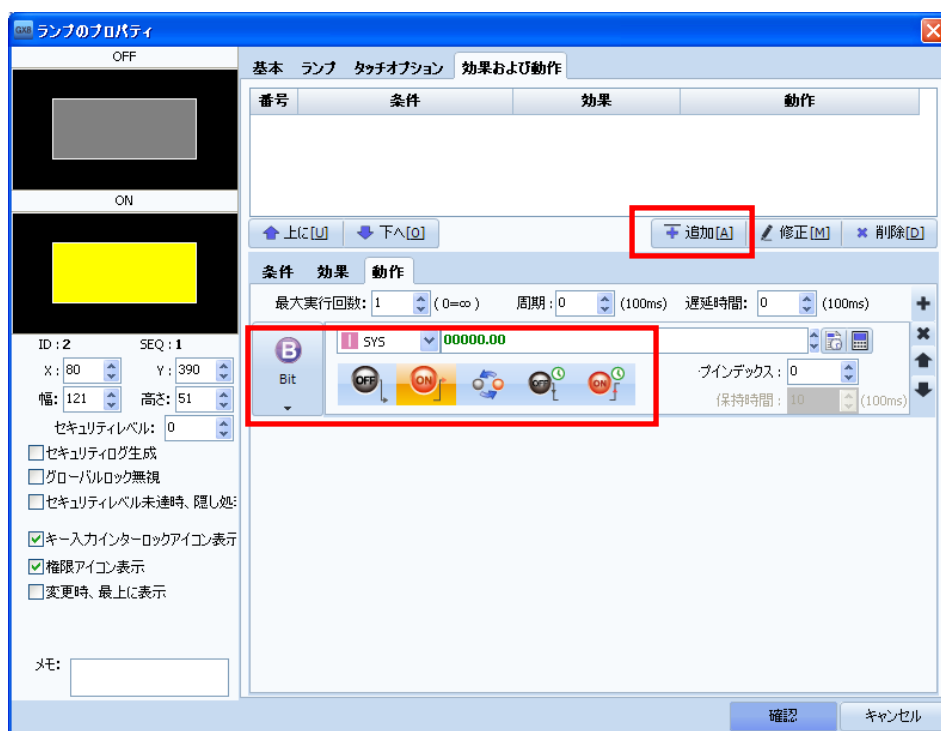


[条件]タブで[タッチダウン]を選択します。



[動作]タブで、Bit[On Continue]を選択し、アドレスを設定します。

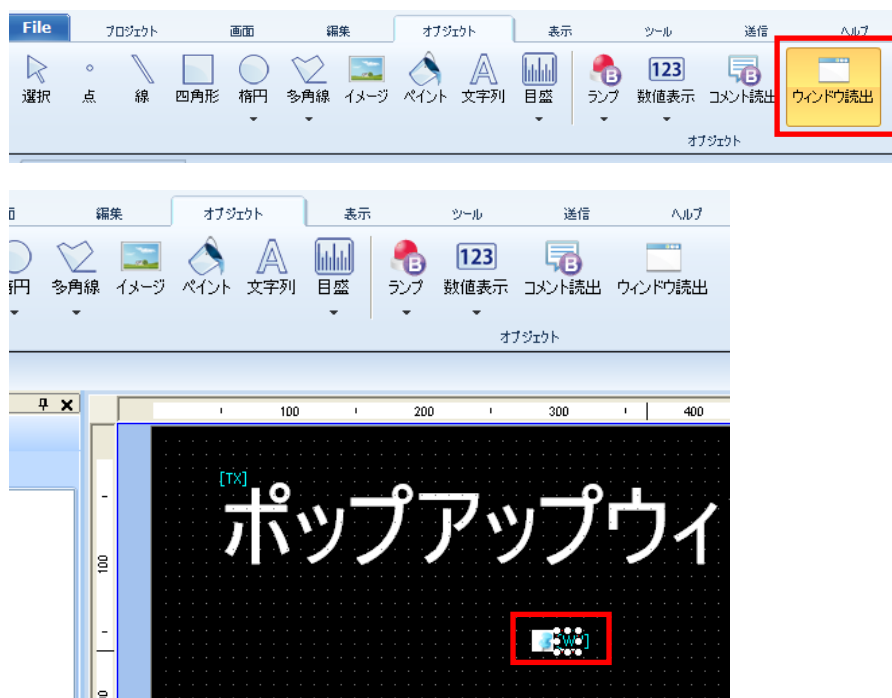
(例: アドレス:SYS0.0)



必要に応じてスイッチのデザインおよび文字列を設定します。



[オブジェクト]タブの[ウィンドウ読出]をクリックし、基本画面にオブジェクトを配置します。



配置した[ウィンドウ呼出]をダブルクリックで[プロパティ]を開きます。

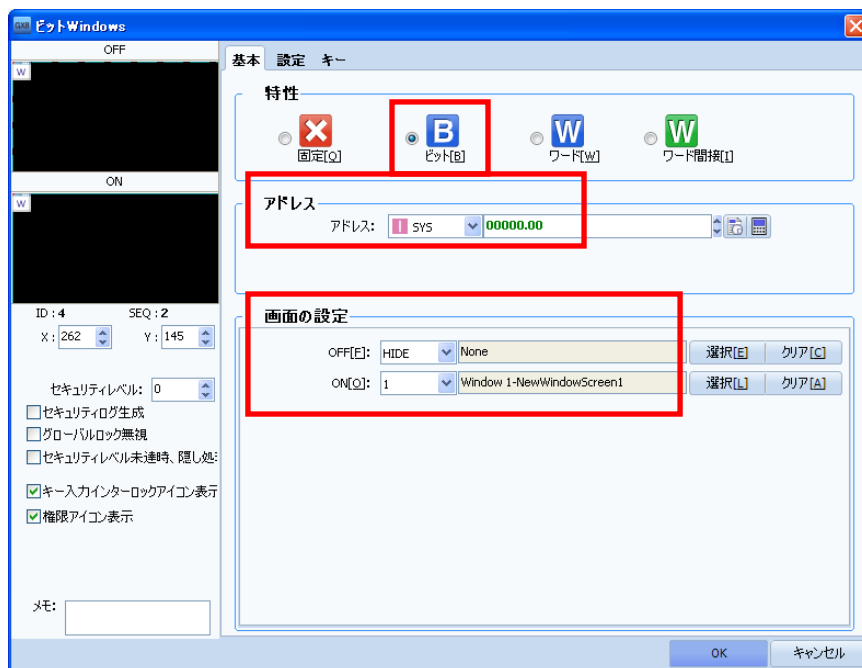
[基本]タブ内を設定します。

特性 : ビット

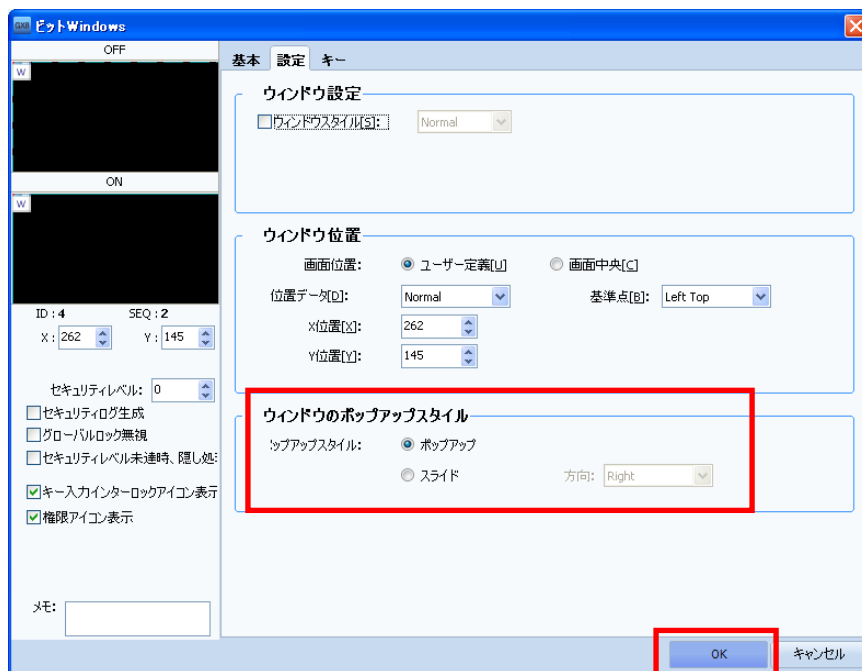
アドレス : SYS0.0 (例: SYS0.0 が ON されるとウィンドウ画面が呼び出される)

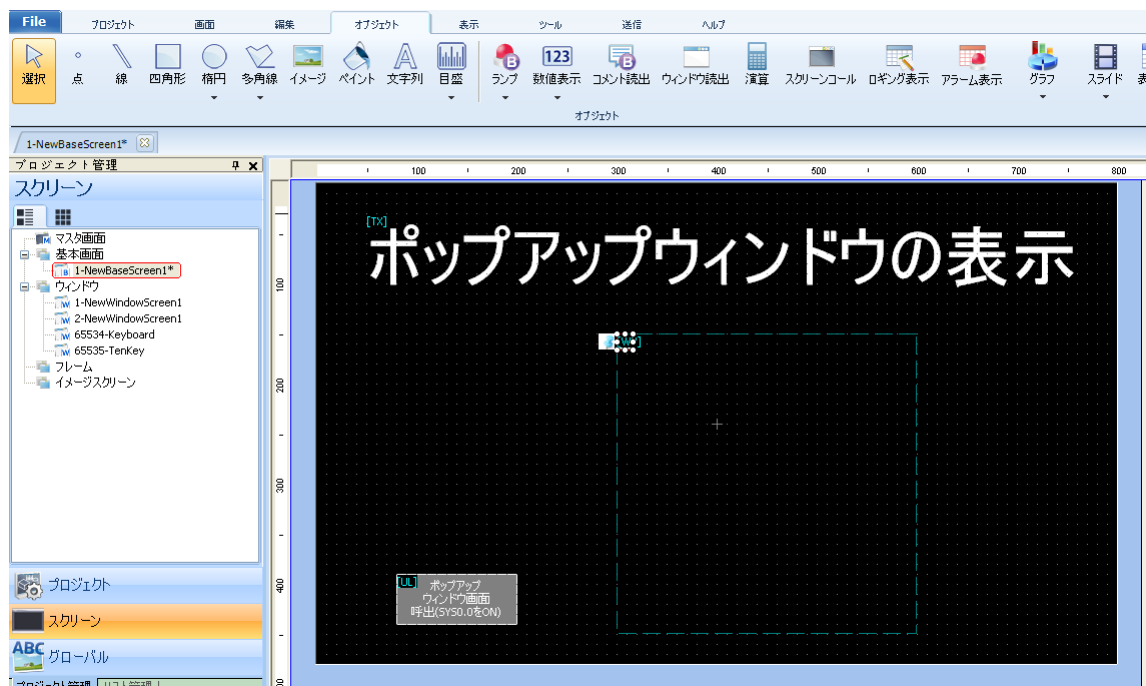
画面の設定: OFF: アドレスが OFF のときに表示するウィンドウ画面番号

ON: アドレスが ON のときに表示するウィンドウ画面番号



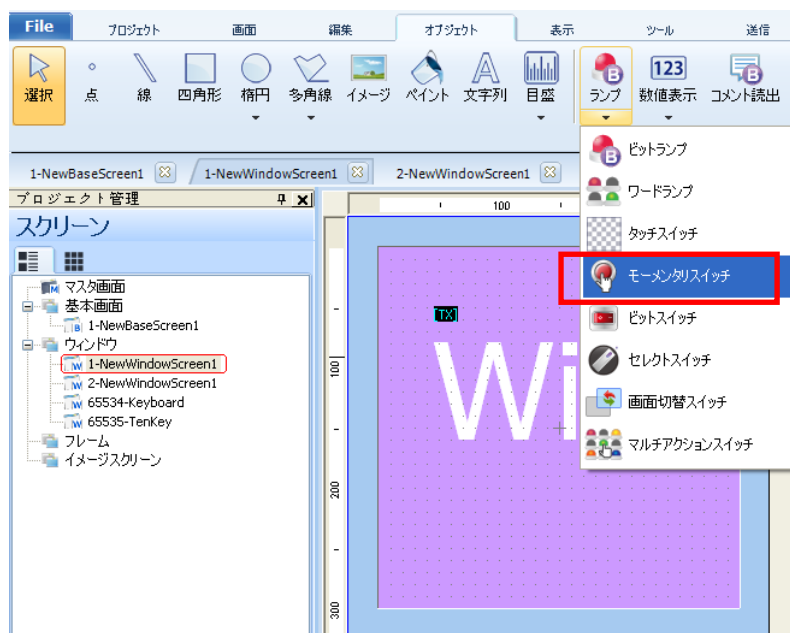
[設定]タブを表示し、ウィンドウのポップアップスタイルを選択し、「OK」をクリックします。



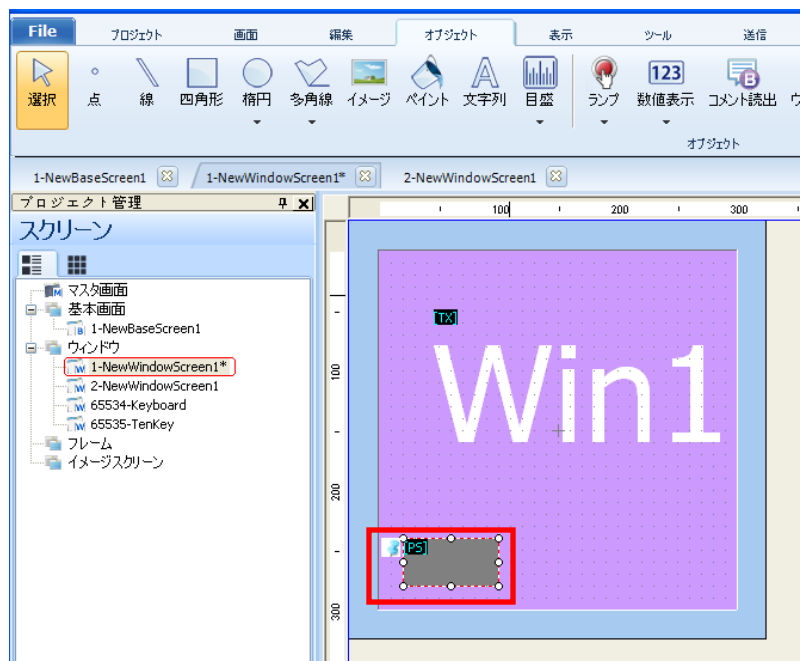


ウィンドウ画面に「画面を閉じる」スイッチを追加します。

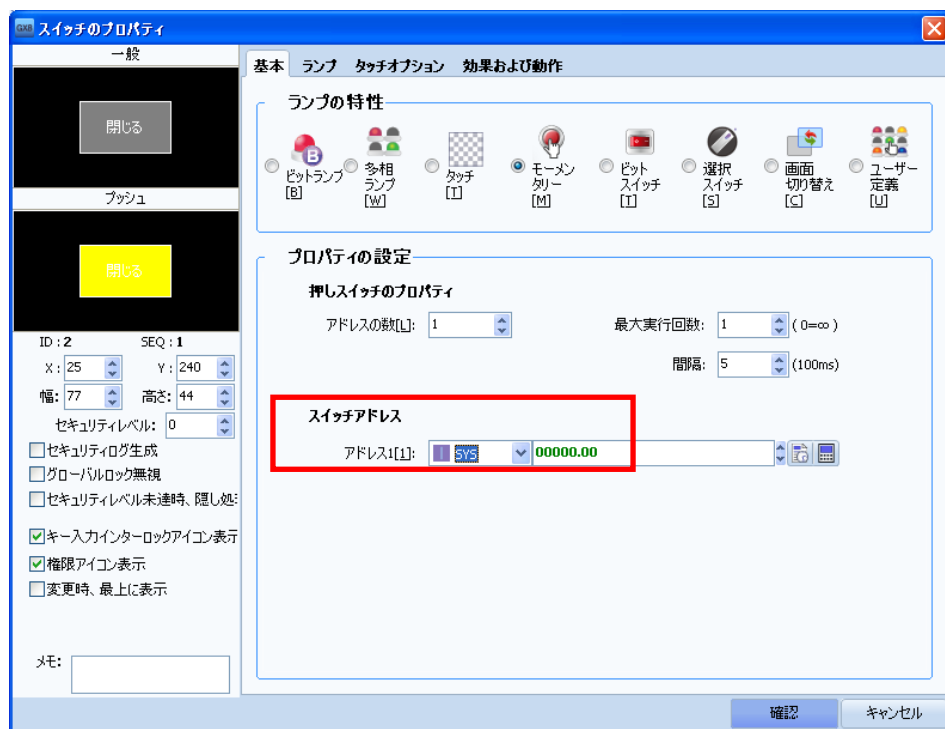
[オブジェクト]タブの[ランプ]—[モーメンタリスイッチ]をクリックし、ウィンドウ画面にスイッチを配置します。



配置したスイッチをダブルクリックし、[スイッチのプロパティ]を開きます。



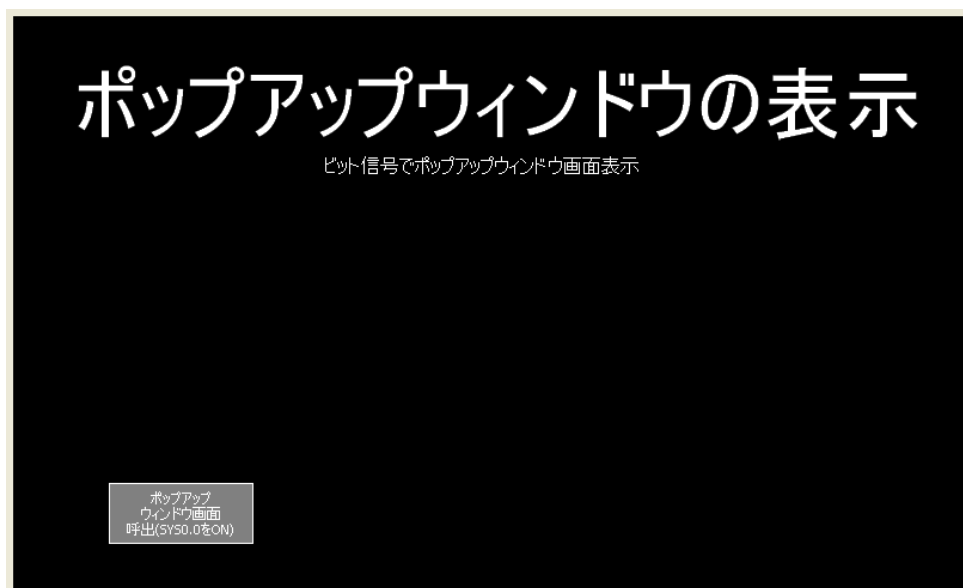
ウィンドウ画面呼出に使用したアドレスを設定します。



スイッチを押すと、ウィンドウ画面がポップアップされます。



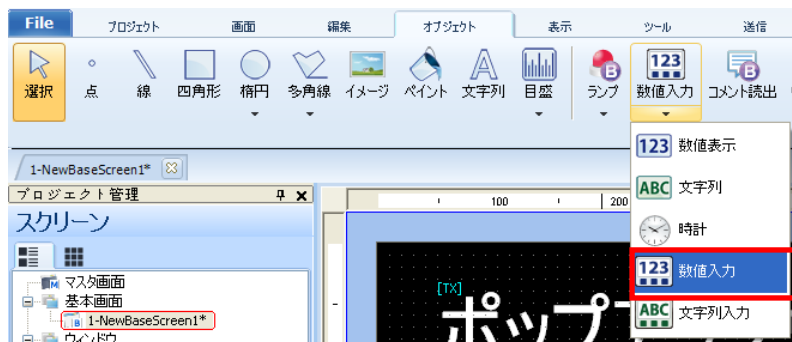
ウィンドウ画面内の「閉じる」スイッチを押すと、ウィンドウ画面が閉じます。



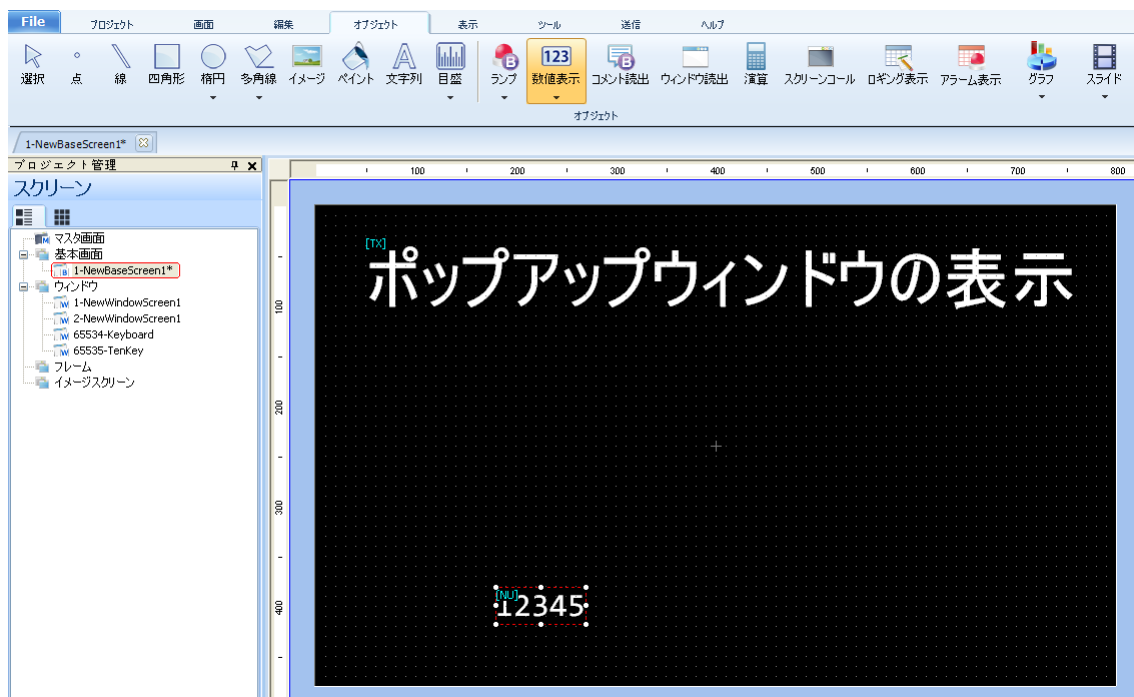
3. [ワードスイッチオブジェクト]で表示する

(例)内部アドレス SYS10 = 「1」の時、ウィンドウ画面を表示する)

[オブジェクト]タブの[数値入力]をクリックし、基本画面に数値入力オブジェクトを配置します。

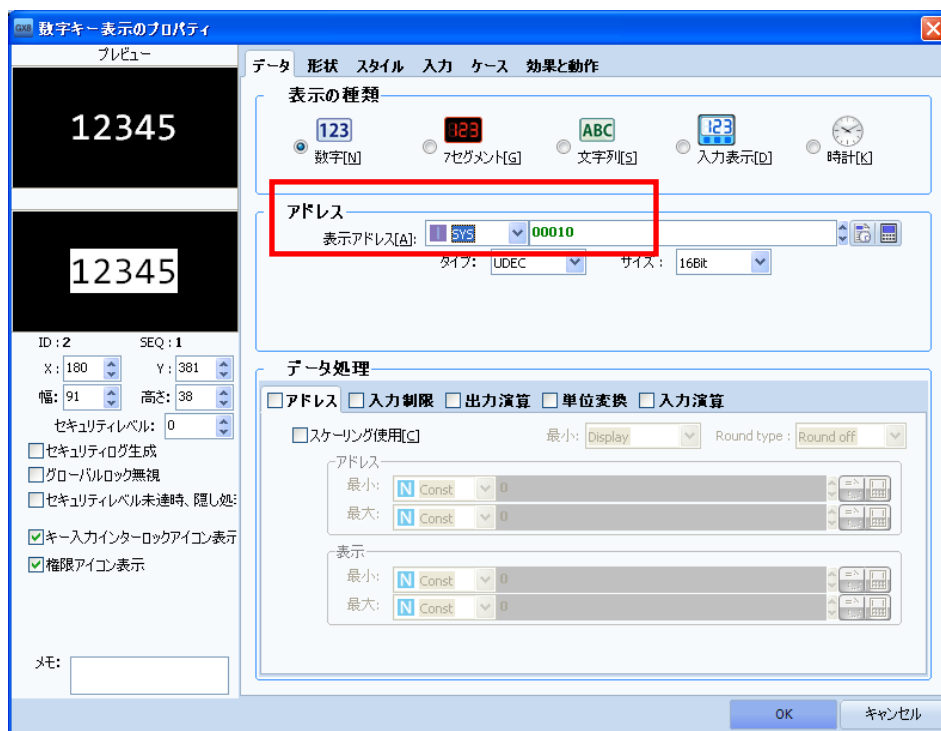


数値入力オブジェクトをダブルクリックしプロパティを開きます。

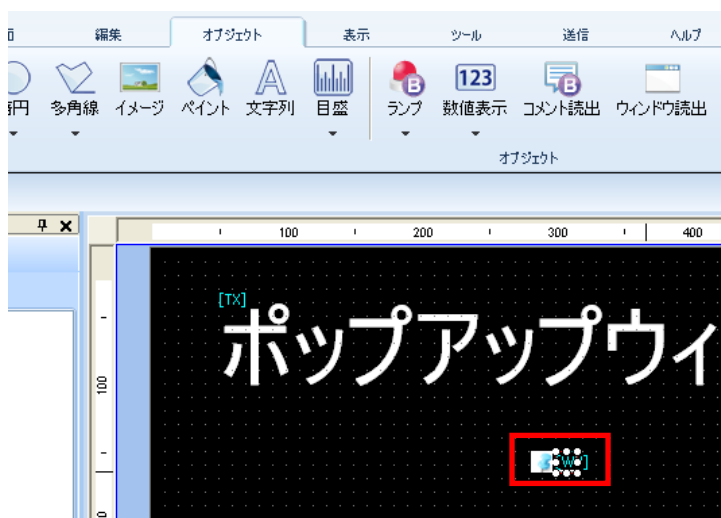
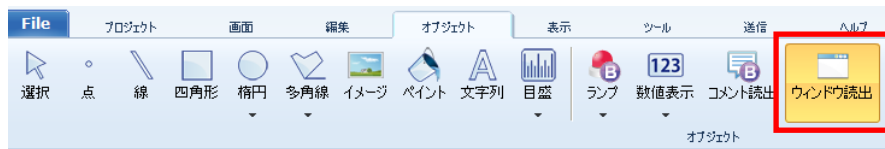


[基本]タブ内のウィンドウ画面呼出アドレスを設定します。

(例: アドレス:SYS10)



[オブジェクト]タブの[ウィンドウ読出]をクリックし、基本画面にオブジェクトを配置します。

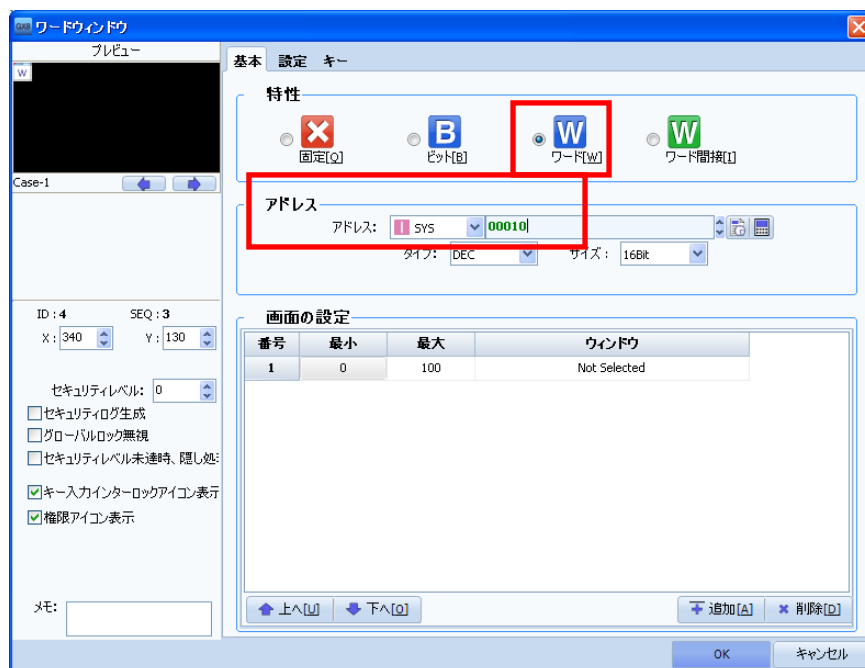


配置した[ウィンドウ呼出]をダブルクリックで[プロパティ]を開きます。

[基本]タブ内を設定します。

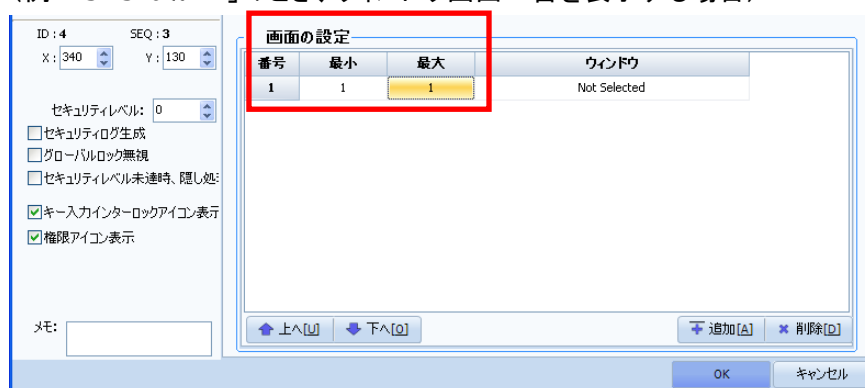
特性 : ワード

アドレス : SYS10 (例: SYS10 に数値が入ると、[画面の設定]で設定されたウィンドウ画面が呼び出される)

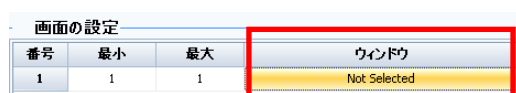


アドレスにセットされる値とウィンドウ画面の紐付けをここで設定します。

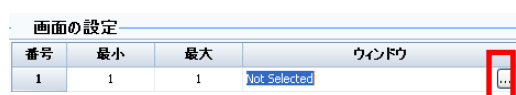
(例: SYS10 が「1」のとき、ウィンドウ画面 2 番を表示する場合)



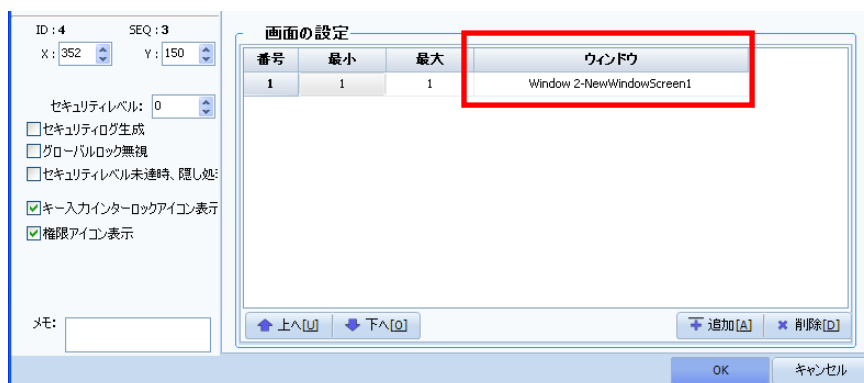
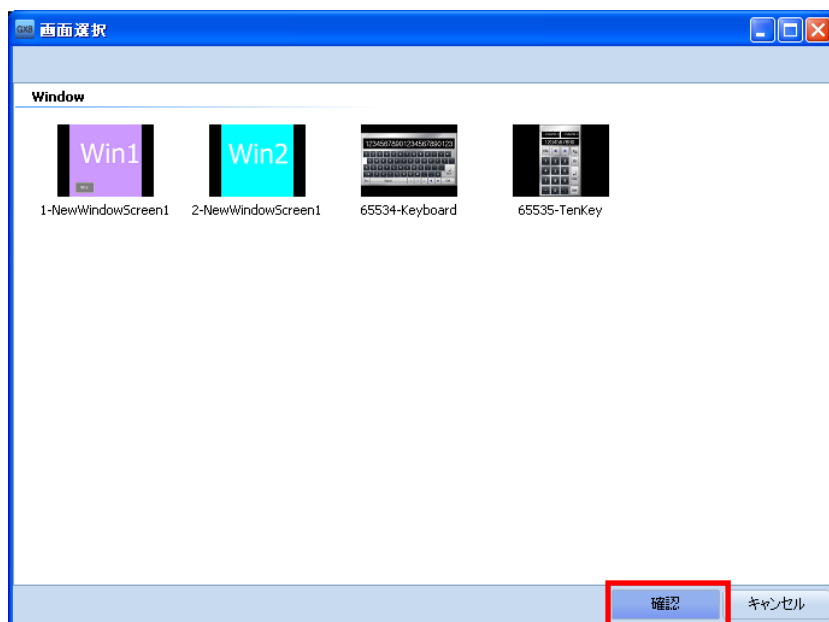
ウィンドウのセルをダブルクリックします。



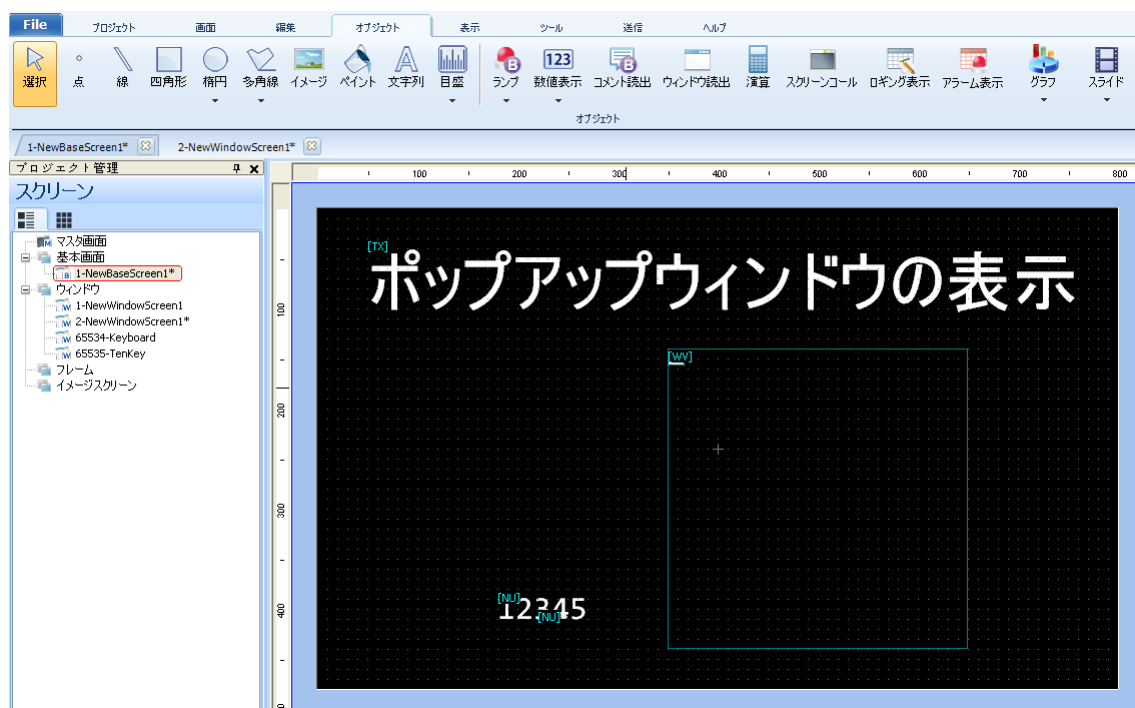
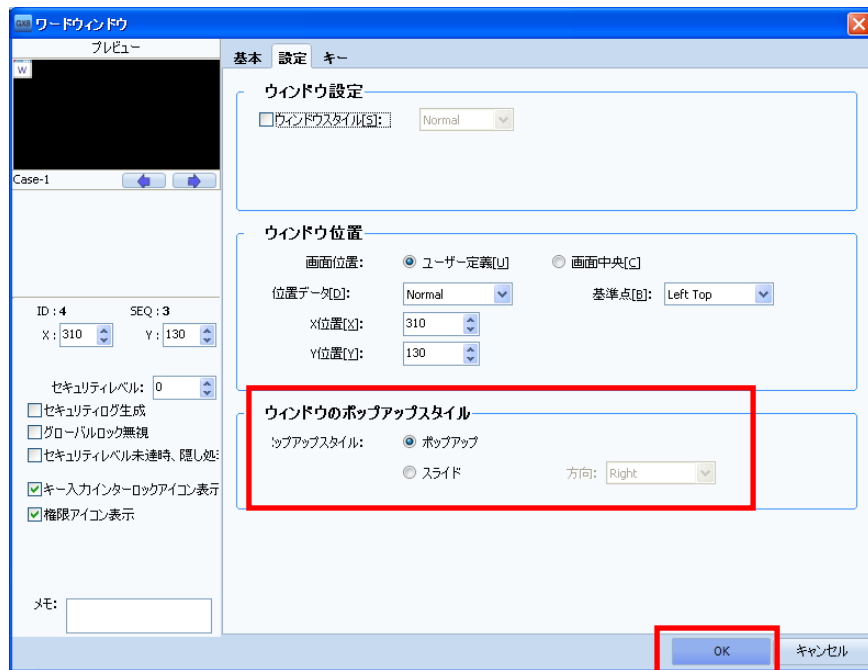
右のボタンをクリックします。



表示させるウィンドウ画面を選択し、「確認」をクリックします。

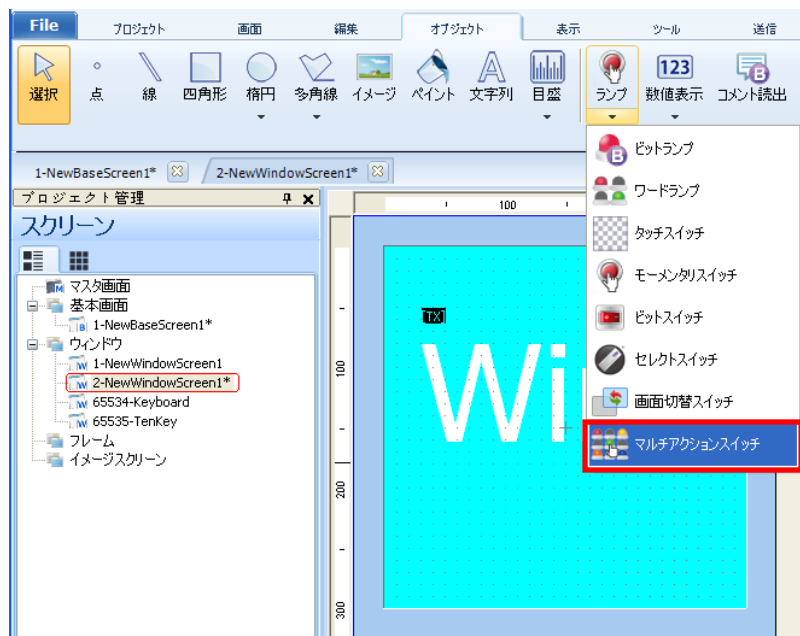


[設定]タブを表示し、ウィンドウのポップアップスタイルを選択し、「OK」をクリックします。

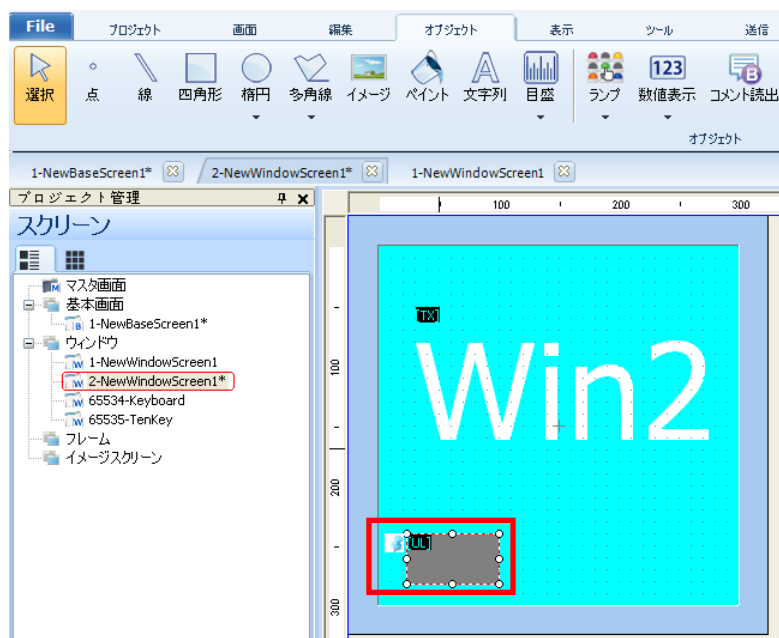


ウィンドウ画面に「画面を閉じる」スイッチを追加します。

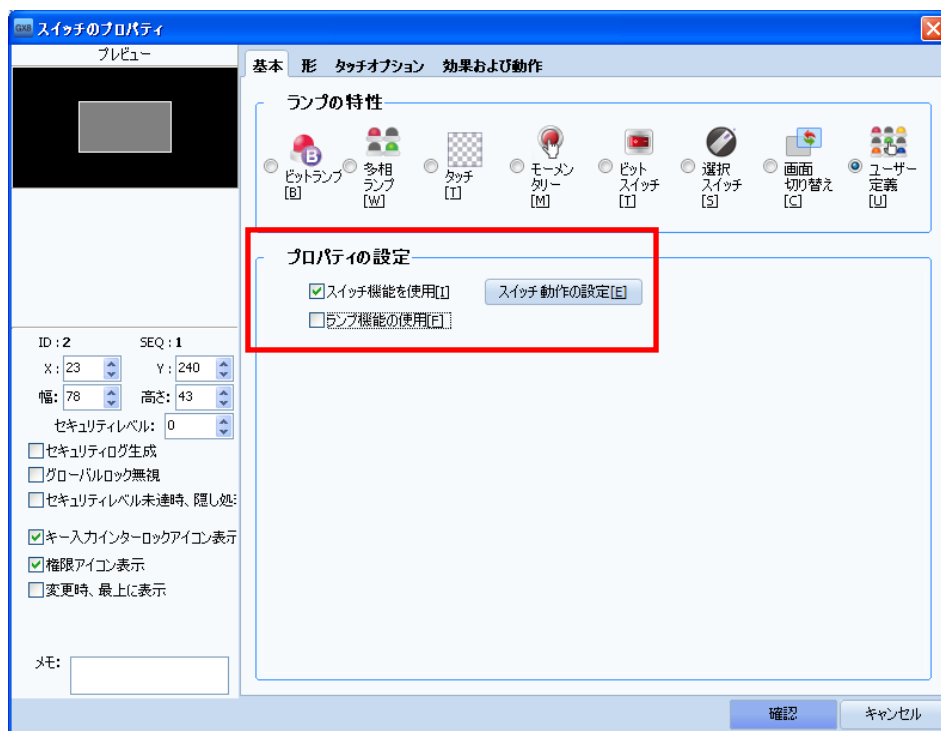
[オブジェクト]タブの[ランプ]—[マルチアクションスイッチ]をクリックし、ウィンドウ画面にスイッチを配置します。



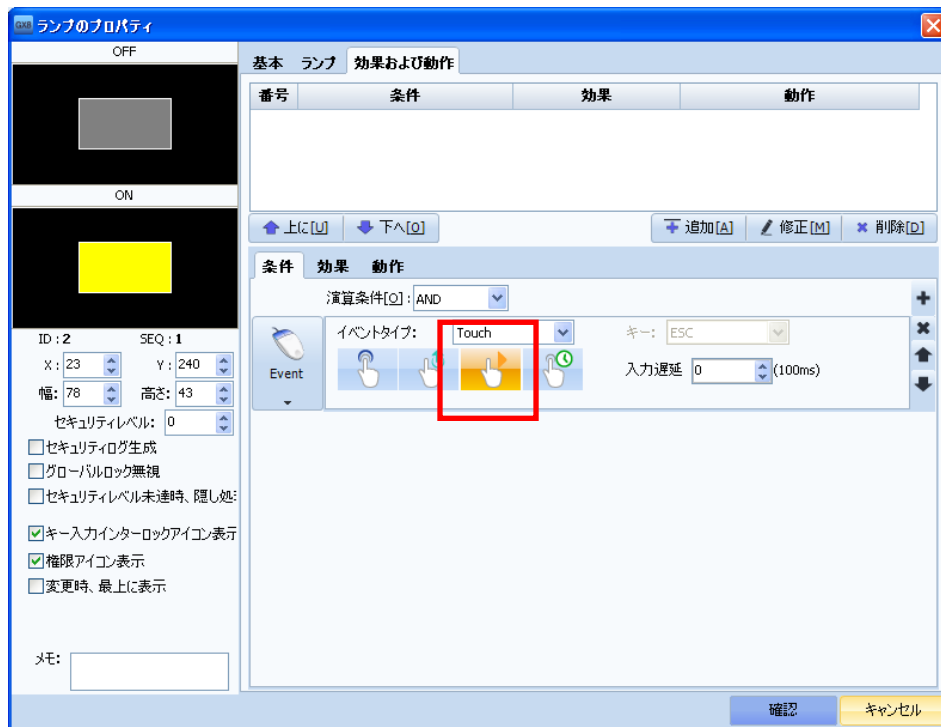
配置したスイッチをダブルクリックし、[スイッチのプロパティ]を開きます。



[基本]タブの[プロパティの設定]の[スイッチ機能を使用]にチェックを入れ、「スイッチ動作の設定」ボタンをクリックします。



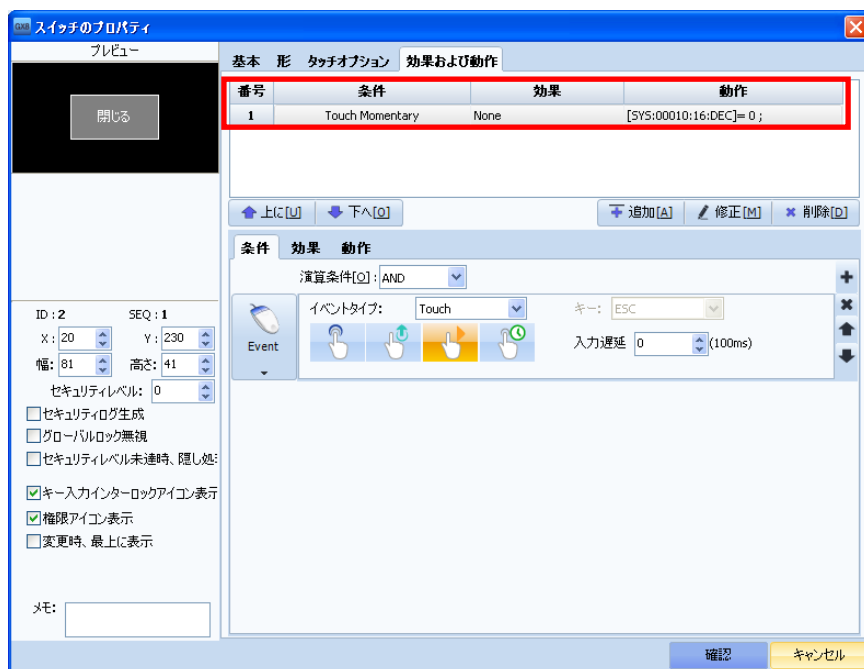
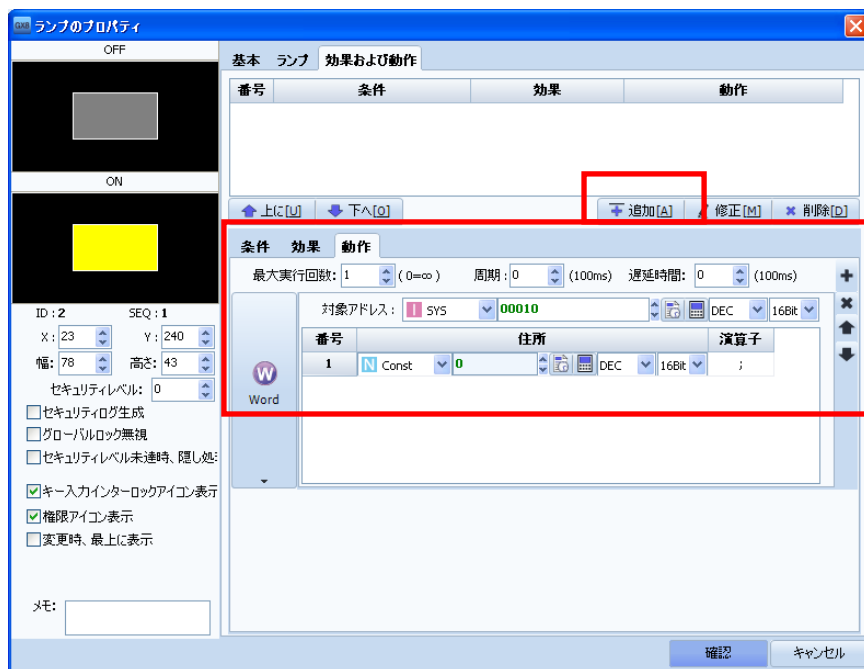
[効果および動作]タブの[条件]タブで[モメンタリ]を選択します。



[動作]タブで[Word]を選択し、アドレスと住所を設定した後、「追加」ボタンをクリックします。
 (スイッチが押されると、アドレス SYS10 に「0」をセットする)

対象アドレス:(例 SYS10)

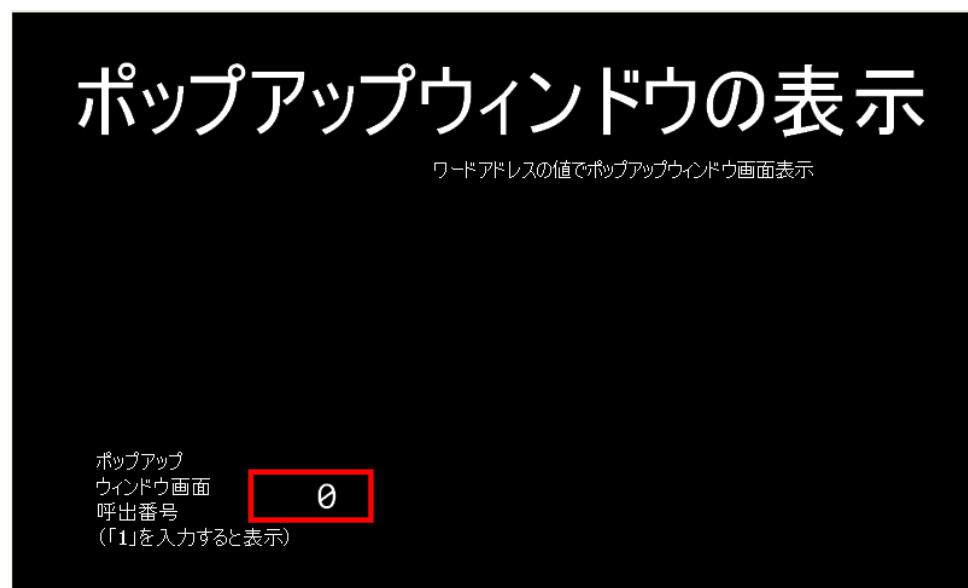
住所: Const:「0」



数値入力をクリックし、「1」を入力すると、ウィンドウ画面がポップアップされます。



ウィンドウ画面内の「閉じる」スイッチを押すと、ウィンドウ画面が閉じ、呼出アドレス（例：SYS10）に「0」がセットされます。

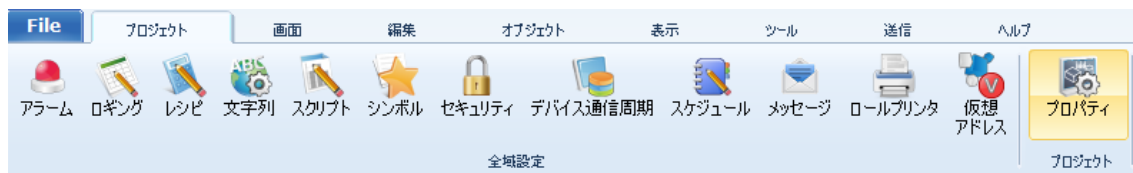


4. PLC からウィンドウ画面を表示する

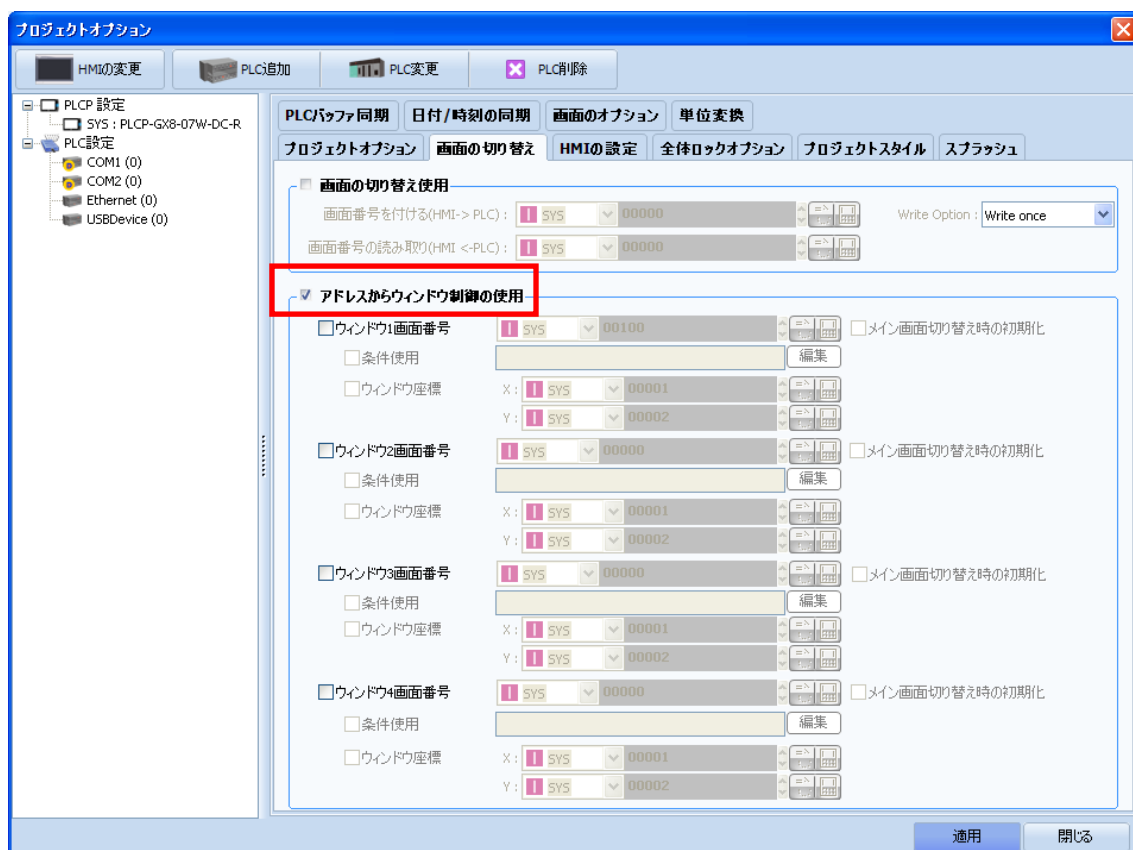
(例)内部アドレス SYS100 = 「1」の時、ウィンドウ画面1を表示し、
SYS100 = 「2」の時、ウィンドウ画面2を表示する)

※PLC 機種に応じて SYS100 の部分を PLC のアドレスに置き換えてください。

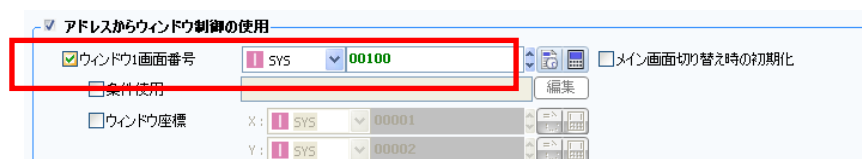
[プロジェクト]タブの[プロパティ]をクリックし、[プロジェクトオプション画面]を表示します。



[アドレスからウィンドウ制御の使用]にチェックを入れます。



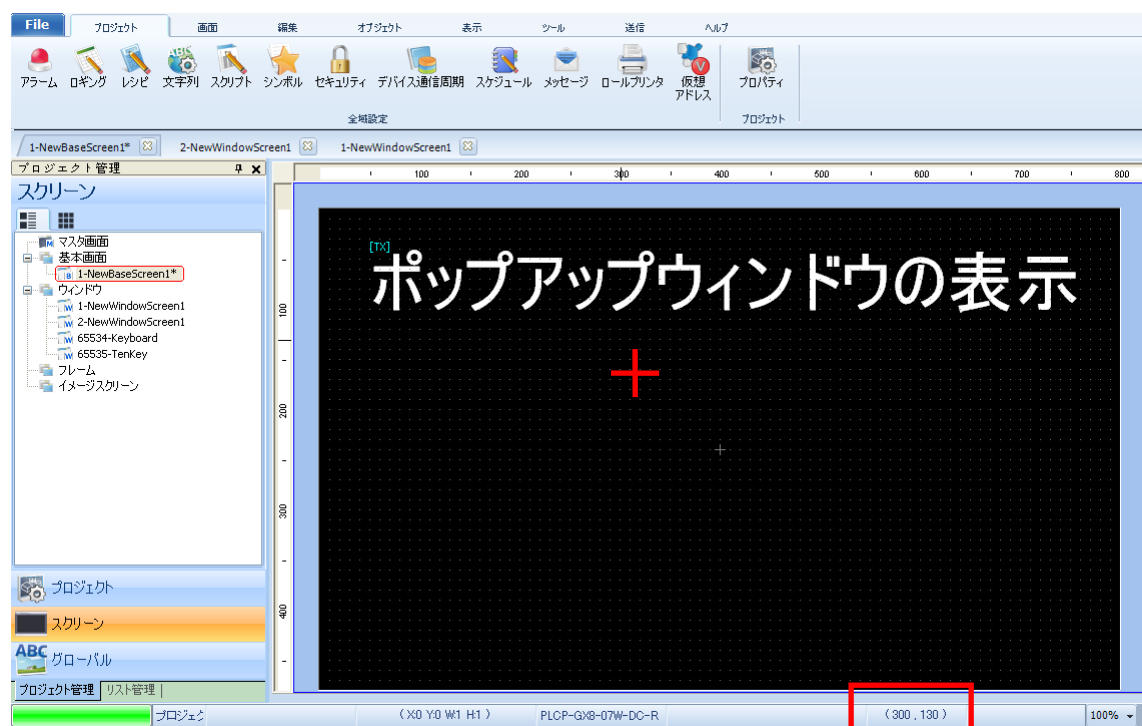
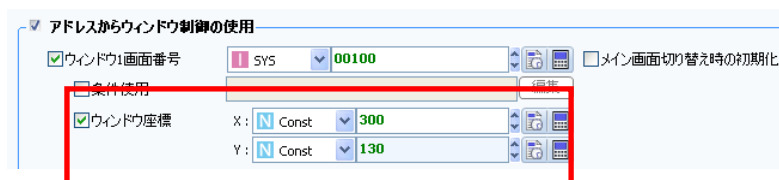
[ウィンドウ画面番号]にチェックを入れ、画面呼出アドレス(例: SYS100)を設定します。



ポップアップ表示座標を指定しない場合は、画面左上に表示されます。

ポップアップ表示位置を指定する場合は、[ウィンドウ座標]にチェックを入れ、座標(ウィンドウ画面の左端の座標)を設定します。

座標は、作画ソフト左下で確認できます。

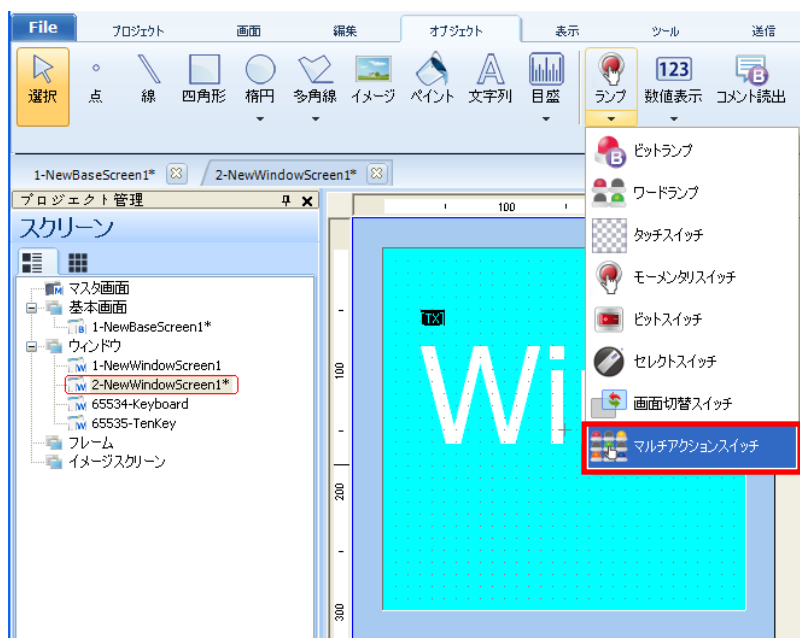


「適用」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

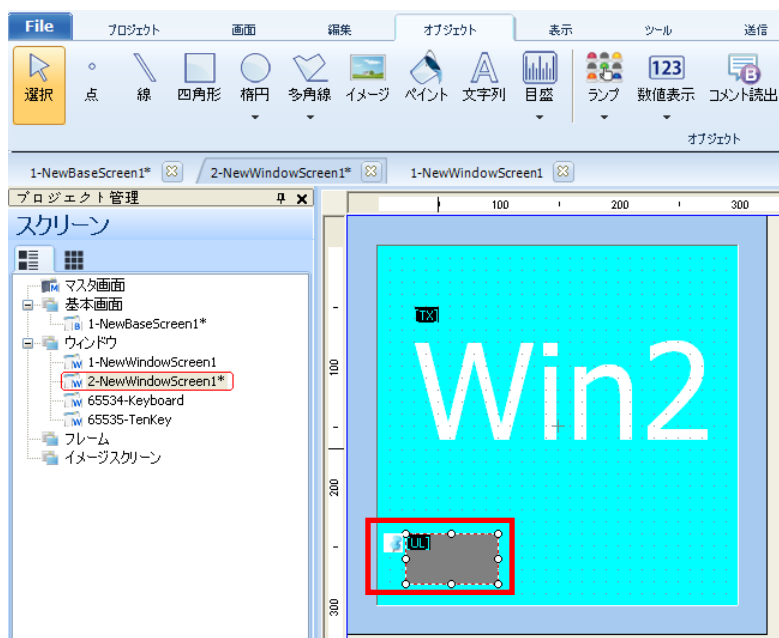


ウィンドウ画面に「画面を閉じる」スイッチを追加します。

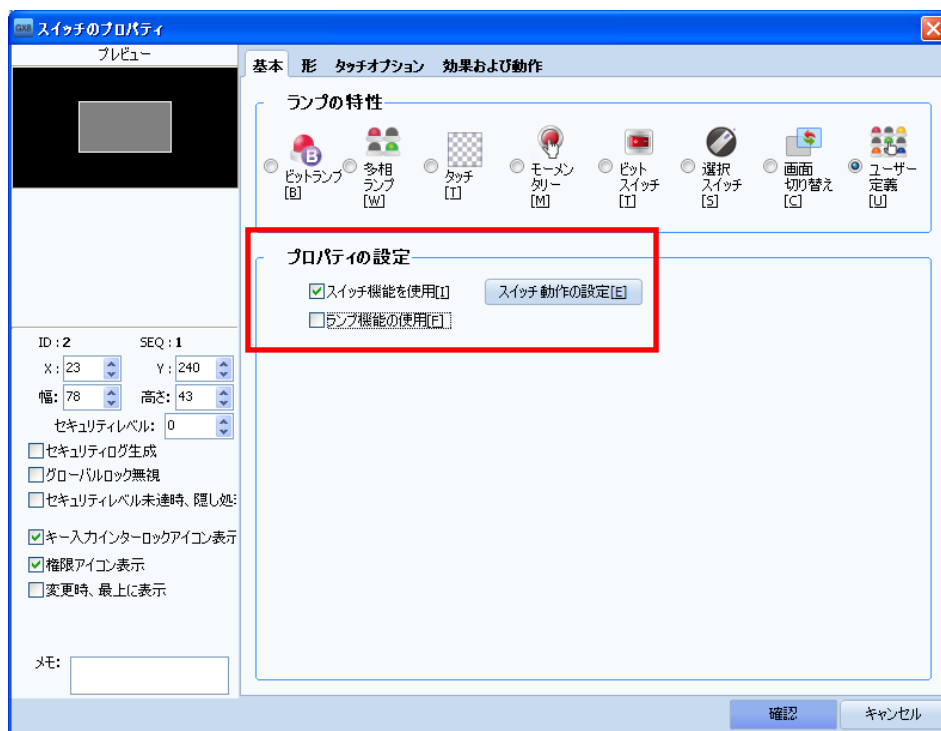
[オブジェクト]タブの[ランプ]—[マルチアクションスイッチ]をクリックし、ウィンドウ画面にスイッチを配置します。



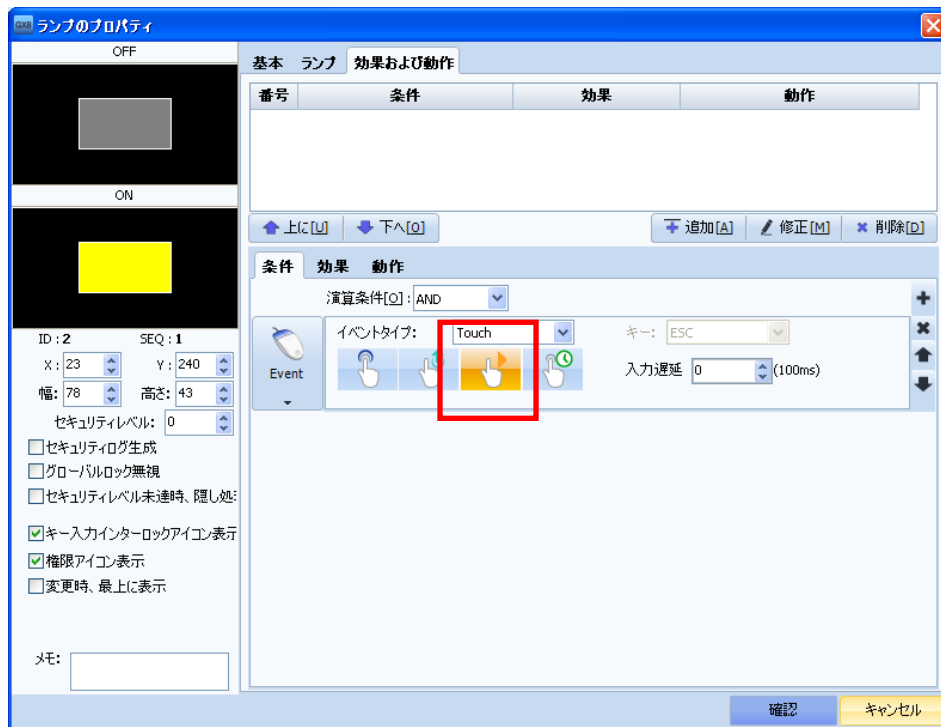
配置したスイッチをダブルクリックし、[スイッチのプロパティ]を開きます。



[基本]タブの[プロパティの設定]の[スイッチ機能を使用]にチェックを入れ、「スイッチ動作の設定」ボタンをクリックします。



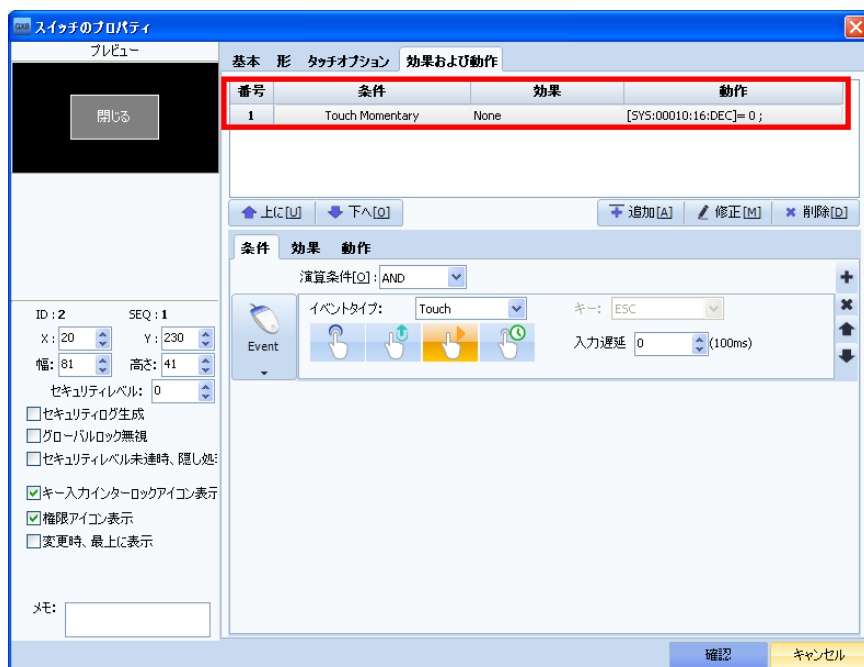
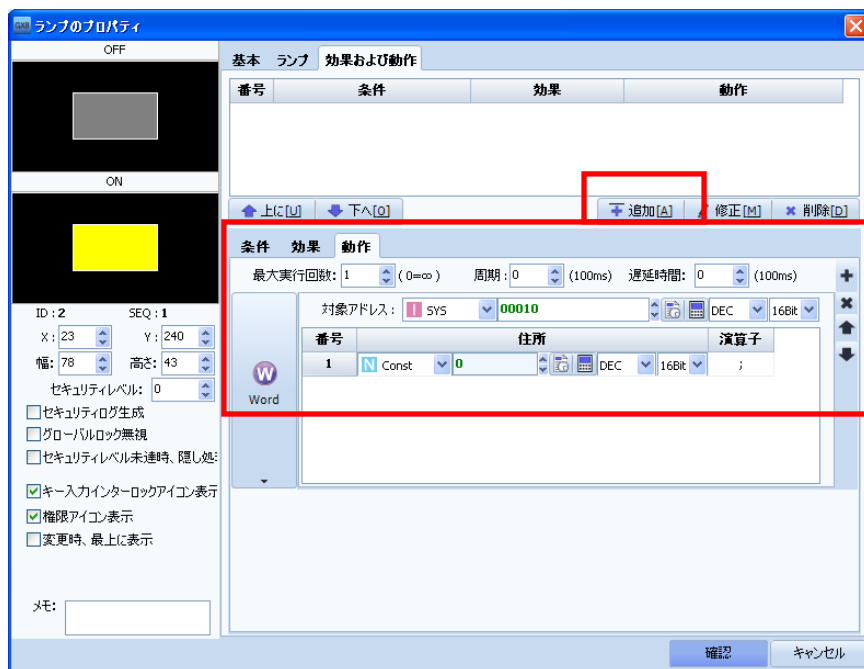
[効果および動作]タブの[条件]タブで[モメンタリ]を選択します。



[動作]タブで[Word]を選択し、アドレスと住所を設定した後、「追加」ボタンをクリックします。
 (スイッチが押されると、アドレス SYS100 に「0」をセットする)

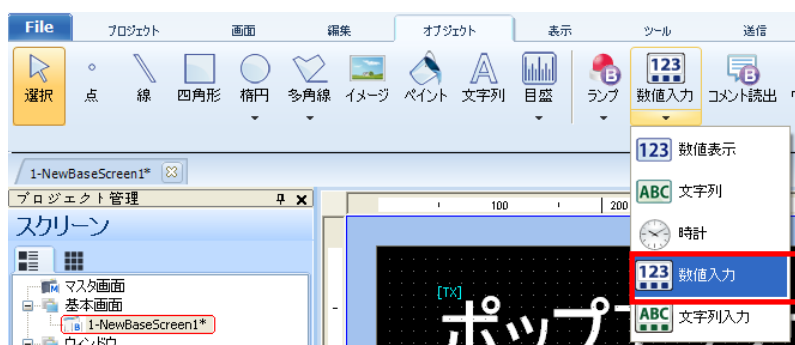
対象アドレス:(例 SYS100)

住所: Const:「0」

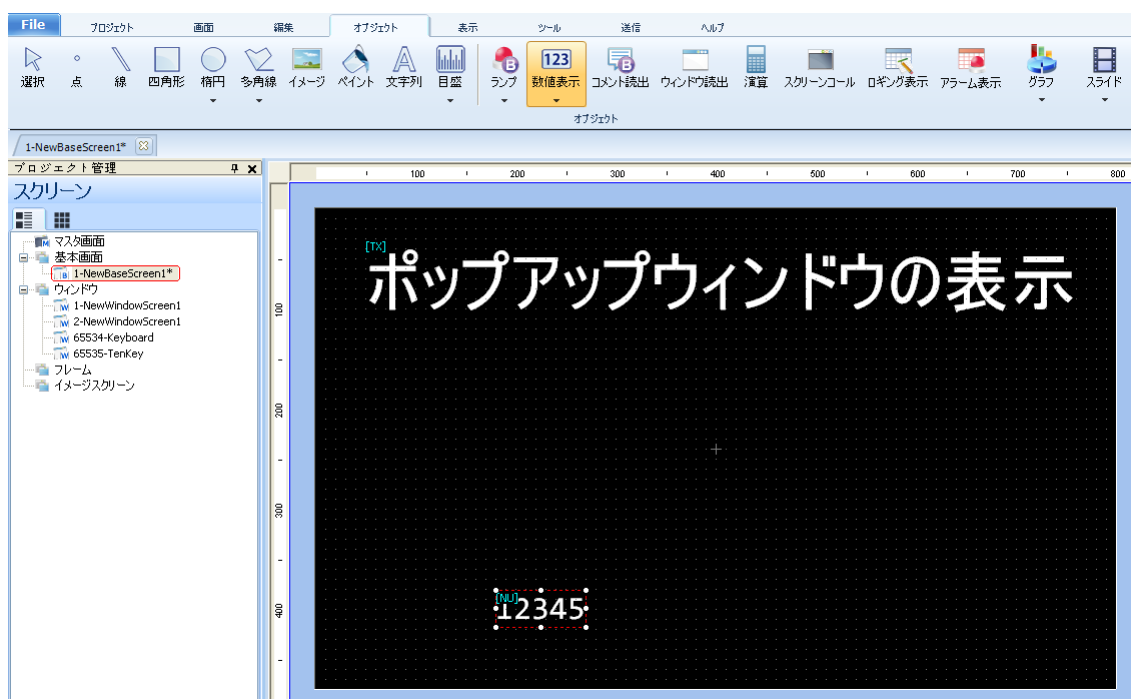


動作テスト用に、PLC の代わりに数値入力オブジェクトを設定し、ウィンドウ画面の呼び出しを行います。

[オブジェクト]タブの[数値入力]をクリックし、基本画面に数値入力オブジェクトを配置します。

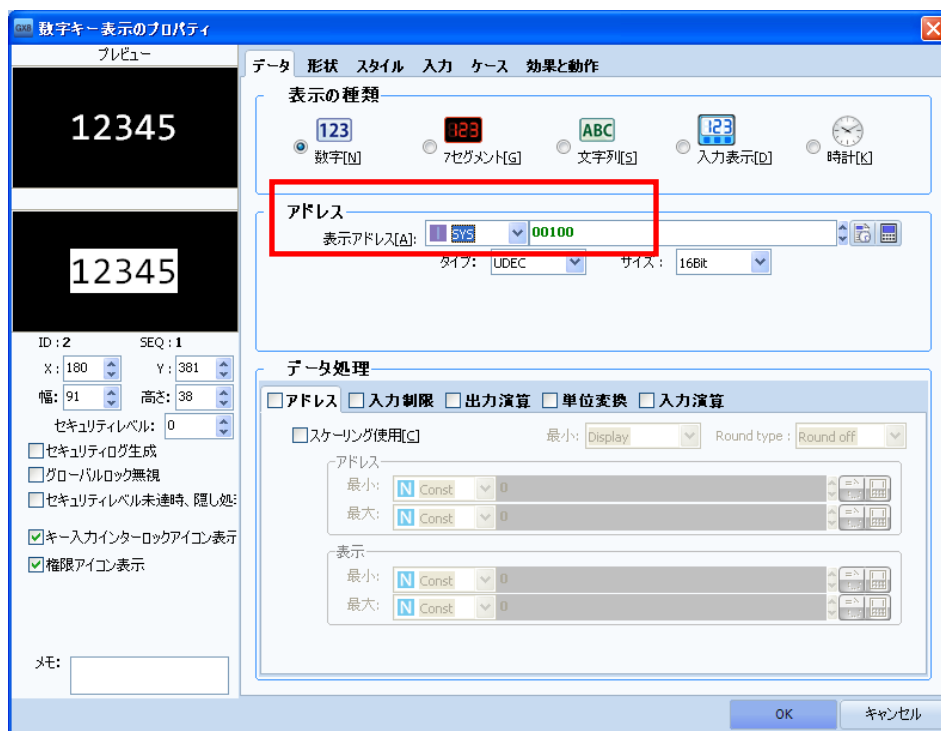


数値入力オブジェクトをダブルクリックしプロパティを開きます。



[基本]タブ内のウィンドウ画面呼出アドレスを設定します。

(例: アドレス:SYS100)



数値入力をクリックし、「1」を入力すると、ウィンドウ画面1がポップアップされます。



ポップアップウィンドウの表示

ポップアップ
ウィンドウ画面
呼出番号

1

Win1

閉じる

(「1」を入力するとウィンドウ画面1を表示)
(「2」を入力するとウィンドウ画面2を表示)

ウィンドウ画面内の「閉じる」スイッチを押すと、ウィンドウ画面が閉じ、呼出アドレス
(例: SYS10)に「0」がセットされます。

ポップアップウィンドウの表示

ポップアップ
ウィンドウ画面
呼出番号

0

(「1」を入力するとウィンドウ画面1を表示)
(「2」を入力するとウィンドウ画面2を表示)

数値入力をクリックし、「2」を入力すると、ウィンドウ画面2がポップアップされます。

